

麻しん（はしか）患者の発生に伴う注意喚起について

令和8年4月9日（木）に、川崎市内医療機関から麻しんの届出がありました。他の人に感染させる恐れがある期間に接触者が特定できない施設及び公共交通機関を利用していたことがわかりましたので、感染の拡大防止及び注意喚起を目的に広く情報提供するものです。

発生例1

【患者情報（市内在住）】（医療機関受診日：4月8日）

性別	年齢	症状	海外渡航歴	予防接種歴	発症日	結果判明日*	病型
男性	40代	発熱、発疹、頭痛	なし	1回	4月6日	4月9日	修飾麻しん

※市健康安全研究所の遺伝子検査の結果：麻しんウイルス陽性

【感染可能期間内に患者が利用した施設】

患者が利用した日	時間帯（目安）	患者が利用した施設
4月8日（水）	18時30分頃～19時頃	トライアル西友武蔵新城店
4月8日（水）		ビーンズ武蔵新城

【感染可能期間内に患者が利用した公共交通機関】

患者が利用した日	時間帯（目安）	患者が利用した路線
4月6日（月）	9時頃～9時15分頃	JR南武線 武蔵新城駅→武蔵小杉駅
	9時15分頃～9時45分頃	東急東横線・東京メトロ副都心線（直通） 武蔵小杉駅→東新宿駅
	18時30分頃～19時頃	東急東横線・東京メトロ副都心線（直通） 東新宿駅→武蔵小杉駅
	19時頃～19時15分頃	JR南武線 武蔵小杉駅→武蔵新城駅

発生例2

【患者情報（市内在住）】（医療機関受診日：4月9日）

性別	年齢	症状	海外渡航歴	予防接種歴	発症日	結果判明日*	病型
男性	20代	咳嗽、鼻汁、発疹、発熱	なし	不明	4月6日	4月9日	麻しん

※市健康安全研究所の遺伝子検査の結果：麻しんウイルス陽性

【感染可能期間内に患者が利用した公共交通機関】

患者が利用した日	時間帯（目安）	患者が利用した路線
4月8日（水）	0時30分頃～1時頃	東急目黒線 目黒駅→武蔵小杉駅

発生例3**【患者情報（市外在住）】**（医療機関受診日：4月9日）

性別	年齢	症状	海外渡航歴	予防接種歴	発症日	結果判明日*	病型
男性	20代	発熱、発疹、 結膜充血	なし	2回	4月6日	4月9日	麻疹

※市健康安全研究所の遺伝子検査の結果：麻疹ウイルス陽性

【感染可能期間内に患者が利用した施設】

患者が利用した日	時間帯（目安）	患者が利用した施設
4月5日（日）	20時頃～20時30分頃	大戸屋ごはん処 元住吉駅前店
4月9日（木）	8時40分頃～11時頃	川崎市立井田病院

【感染可能期間内に患者が利用した公共交通機関】

患者が利用した日	時間帯（目安）	患者が利用した路線
4月5日（日）	10時頃～11時頃	東京メトロ丸ノ内線 新高円寺駅→大手町駅
	11時頃～11時15分頃	都営三田線 大手町駅→芝公園駅
	18時頃～18時30分頃	都営三田線・東急目黒線（直通） 芝公園駅→武蔵小杉駅
	20時30分頃～20時40分頃	東急東横線又は目黒線 元住吉駅→日吉駅
4月6日（月）	6時30分頃～7時00分頃	東急東横線 日吉駅→渋谷駅
	7時00分頃～7時15分頃	東京メトロ銀座線 渋谷駅→外苑前駅
	12時00分頃～12時15分頃	東京メトロ銀座線 外苑前駅→渋谷駅
	12時15分頃～12時45分頃	東急東横線 渋谷駅→日吉駅
4月7日（火）	7時30分頃～8時00分頃	東急東横線 日吉駅→渋谷駅
	8時00分頃～8時15分頃	東京メトロ銀座線 渋谷駅→外苑前駅
	12時30分頃～12時45分頃	東京メトロ銀座線 外苑前駅→渋谷駅
	12時45分頃～13時15分頃	東急東横線 渋谷駅→日吉駅

- ※ 発症の前日から他の人に感染させる恐れがあります。
- ※ 施設や公共交通機関を同じ時間帯に利用された方で、利用後10～12日程度経ってから、麻疹を疑う症状が出た場合は、**必ず事前に医療機関に連絡の上**、受診してください。
- ※ 受診の際は、周囲の方に感染させないように、**公共交通機関の利用を避けて**ください。
- ※ **施設及び公共交通機関への直接のお問い合わせはお控えください。**
- ※ 現時点において、麻疹患者が利用した施設等を利用しても、感染の心配はありません。
- ※ 多数の接触者がいる、又は不特定多数の接触者がいる可能性がある施設等については、広く情報提供するため施設名等を公表しています。
- ※ 行動歴調査等から特定された接触者には個別に対応しています。

【麻しん発生状況】

(件)

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
川崎市	0	0	1	0	2	14 ^{※1}
全国	6	6	28	45	265	197 ^{※2}

※1 令和8年4月10日時点（本件を含む）。なお、件数には、接触者が特定できているため、個別の公表を行わなかった事例を含む。

※2 暫定値 令和8年4月1日時点（国立健康危機管理研究機構）

【修飾麻しんとは】

- ・麻しんに対する免疫が不十分な人が麻しんウイルスに感染した場合、軽症で典型的な症状が現れない麻しんを発症することがあります。このような麻しんを「修飾麻しん」と呼びます。
- ・具体的には、高熱が出ない、発熱期間が短い、発しんが手足だけで全身には出ないなどです。潜伏期間が長くなり、感染力は典型的な麻しんに比べて弱いといわれていますが、周囲の人への感染源になるので注意が必要です。

【市民の皆様へ】

- ・麻しんウイルスの感染経路は空気感染、飛沫感染、接触感染で、感染力は非常に強いと言われています（症状等は別添リーフレットを御参照下さい。）。
- ・麻しんの効果的な予防方法は、ワクチンの接種です。
- ・現在、海外渡航歴のない方を含めて麻しんの報告が増えています。麻しんの免疫を十分に保有していない場合は、患者と接触後、潜伏期間（平均10～12日）を経て発病する可能性がありますので、御注意ください。
- ・麻しんを疑う症状が出た場合は、必ず事前に医療機関に連絡の上、受診してください。
- ・受診の際は、周囲の方に感染させないように、公共交通機関の利用を避けてください。

報道機関各位におかれましては、感染症法の精神に基づき、患者及び患者家族等については、本人等が特定されないことがないよう、格段の御配慮をお願いします。

《問合せ先》

川崎市健康福祉局保健医療政策部
感染症対策課 神庭（かにわ）
電話：044-200-2441